

「あらお未来プロジェクト」 加速していきます！

1. 切れ目のない充実した子育て環境をつくる

◎小・中学校 ICT 環境整備事業
93,349 千円

(小学校 72,906 千円、中学校 20,443 千円)
全小・中学校にタブレットを導入し、情報教育を推進します。

◎子ども未来文庫整備事業
2,600 千円

読書への関心や親しみを感じてもらい、読書習慣の確立と学力の向上につなげます。

◎中学校フリースクール事業
4,807 千円

中学校1校を不登校生徒支援指定校とし、専任の指導員が常駐して、生徒の不登校の解消や未然防止、社会的自立に向けた積極的な支援を行います。

2. 誰もがつながりを持ち、健康でいきいきとした暮らしをつくる

◎潮湯集いの場等設置事業
15,000 千円

高齢者の健康増進のため、潮湯に健康体操教室等を実施できる集いの場を設置します。

◎成年後見制度利用促進体制整備事業
2,884 千円

認知症や障がいがあっても安心して暮らせるように「荒尾市権利擁護推進センター」(仮称)を設置します。

3. 雇用の確保と所得の向上で安定した暮らしをつくる

◎荒尾・大牟田連携
「地元企業と学校の情報交換会」事業
51 千円

地元企業の認知度の向上を図り、地域の高校生の地元就職率向上、企業の人材確保を支援します。

◎農水産物販路拡大推進事業
3,299 千円

市特産の梨の販路拡大による所得向上を目的として、梨農家や販売関連団体などの調査を行います。

4. あらおファンを増やすとともに、移住しやすい環境をつくる

◎子育て応援空家活用補助
2,600 千円

空家の有効活用を図るため、子育て世帯の空家を取得し改修する費用に対して補助金を交付します。

◎多世代定住支援補助
3,100 千円

多世代が互いに支えあい、安心して暮らし続けることができる環境づくりを支援するため、親世代と同一校区での住宅の取得・改修をする子世代へ補助金を交付します。

◎転入促進補助
3,100 千円

将来においても持続的な地域づくりを推進するため、市外居住者が本市に新たに住宅取得を伴い転入する場合などに補助金を交付します。

5. 先進的で持続可能なまちをつくる

◎ポータブル蓄電池・備蓄倉庫の整備
11,703 千円

停電時でも市の災害対応業務が継続して行えるよう、ポータブル蓄電池を整備し、災害時の避難所などへの速やかな物資の供給のため、2カ所の避難所に備蓄倉庫を設置します。

◎合併処理浄化槽設置補助(地域公民館)
1,242 千円

浄化槽設置に要する経費に補助金を交付することで、生活雑排水の処理、地域における活動拠点の充実や、災害時の自主開設避難所としての機能性向上を図ります。

◎AI-OCR 導入事業
3,195 千円

人工知能技術を取り入れた OCR(光学文字認識)を活用し、職員が手入力で書いた申請書などの帳票を瞬時にデータ化し、システムへの取り込みを行うことで、業務の効率化を図ります。

荒尾市の取り組みとお金の使い方



令和2年度 当初予算 (一般会計)

233 億 5 千万円

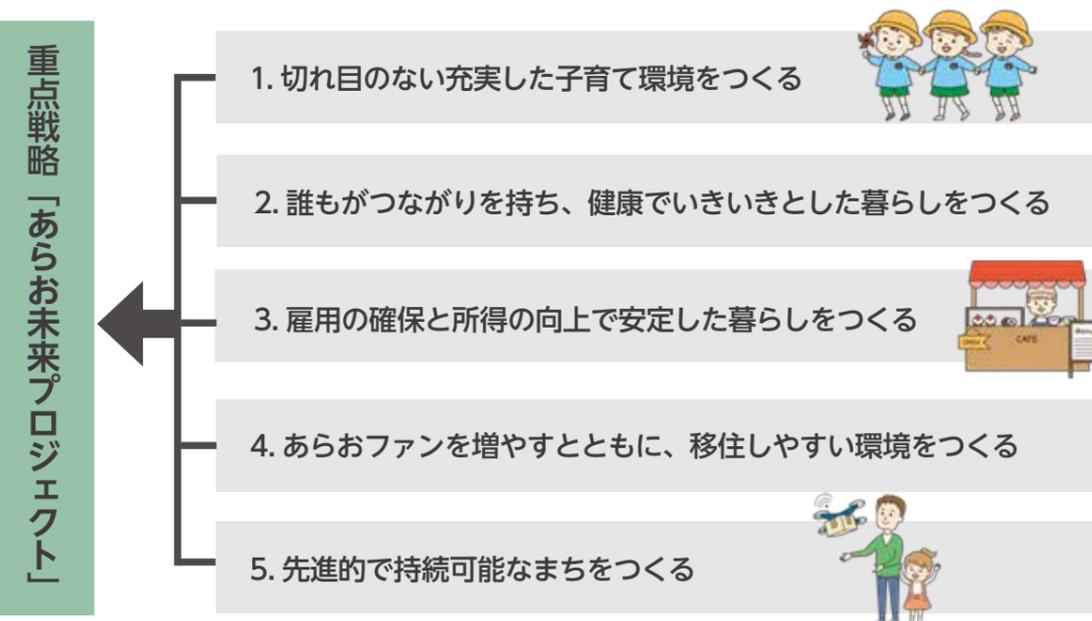
[前年比 7 億 6 千万円(約 3.4%)の増]

「あらお未来プロジェクト」

市の今後のまちづくりの指針となる「第6次荒尾市総合計画」において、将来像を「人がつながり幸せをつくる快適未来都市」と決めました。

「愛着と誇りを持って住み続けたい」「子育てをしたくなる」まちづくりを目指すため、重点戦略「あらお未来プロジェクト」に沿った施策を、積極的に進めていきます。

5 あらお未来プロジェクトの柱 Five project of Arao city for our future



※この予算は、3月の議会で可決されたものです。新型コロナウイルス感染症の状況などにより、限られた財源を適切に執行するため、掲載されている事業の実施について見直しなどを行うことがあります。